

(令和2年3月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>3月は鮮魚の入荷が少なかったため、総入荷量は前年同月比で4%下回った。総取扱金額は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから前年同月比で14%下回った。</p> <p>4月は、かつおの入荷が始まる。この時期のかつおは「初かつお」と呼ばれ、古くから季節を感じる食材として有名である。秋ごろに漁獲される「戻りがつお」に比べさっぱりしていることが特徴である。是非、煮つけやお茶漬けにして御賞味いただきたい。</p>
鮮魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は需要が低迷したことから12%下回った。</p> <p>品目別には、たらの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。天然まだい、ひらめなどの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷したことから下回った。</p>
冷凍魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月並みとなったが、単価は需要が低迷したことから10%下回った。</p> <p>品目別には、冷さばの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さけの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加工水産物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は需要が低迷したことから6%下回った。</p> <p>品目別には、塩さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は、低額なチリ産銀さけの生産量が多く値下がりしたことから下回った。ちりめんの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮魚) ま　あ　じ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は需要が低迷したことから8%下回った。
ま　い　わ　し	三重、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で13%下回ったが、単価は需要が低迷したことから7%下回った。
さ　　ば	三重で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は中型主体の入荷となつたことから前年同月並みとなつた。
す　る　め　い　か	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で47%上回り、単価は4%下回った。
太　　物	総入荷量は前年同月比で19%下回ったが、単価は需要が低迷したことから3%下回った。
び　ん　ち　ょ　う	鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は8%下回った。
ひ　　ら　　め	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は需要が低迷したことから23%下回った。

※太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で29%下回り、単価は5%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で77%下回り、単価は68%上回った。
(加工水産物)	
ち り め ん	入荷量は前年同月比で80%上回り、単価は42%下回った。
な ま ぶ し	入荷量は前年同月比で3%上回り、単価は19%下回った。